

令和2年6月銚子市教育委員会定例会議事録

1 日 時

令和2年6月24日(水)

午後3時00分 開 会 午後3時30分 閉 会

2 場 所

銚子市役所 3階庁議室

3 出席委員

教育長	石 川 善 昭
委 員	安 藤 清
委 員	八 角 憲 男
委 員	伊 藤 晴 美
委 員	杉 崎 継 雄

4 出席職員

学校教育課長	宇野 聡	社会教育課長	林 秀行
社会教育課主幹(スポーツ振興室長兼体育館長)	春山 敏郎	学校教育課長補佐	小関 宏昌
教育総務室長	石毛 秀明	学校教育室長	古澤 孝男
指導室長(兼小児言語指導センター所長)	網中 昭仁	学校給食センター所長	高木 利雄
銚子高等学校事務長	岩船 等		

5 議題等

議案第24号 銚子市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第25号 代決処分の承認を求めることについて(令和2年度銚子市一般会計(教育費)補正予算要求)

6 議事の内容

【教育長】 開会宣言 午後3時00分

ただいまより、令和2年6月銚子市教育委員会定例会を開会いたします。

では、直ちに本日の会議を開きます。

はじめに、議事録の承認についてお諮りいたします。

5月27日に開催いたしました令和2年5月教育委員会定例会の議事録を事前にお配りしておりますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

【教育長】

ご異議ないものと認めますので、当該議事録について承認いたします。

【教育長】

それでは次に、教育委員会に関する報告をいたします。

【教育長】

(別添資料により報告)

【教育長】

その他、教育委員より報告することがございましたら、お願いします。

【伊藤委員】

以前、運動会は中止ということでしたが、その後もう一度各学校に投げるといいうように変更になっていたと思いますが、やはり中止になったのでしょうか。

【学校教育課長】

各学校に運動会については中止ということをお知らせしてあります。また、保護者にもその旨は伝えてあります。

【教育長】

教育委員会と校長会で協議をして、そのように決定しました。

【伊藤委員】

市内全てということですか。

【教育長】

そうです。市内統一です。

【松崎委員】

長期休業について、冬休みの1月は早くは始まらないのですか。

【教育長】

そのようにしました。長期休業については、基本的には3市で統一しての期間としてあります。

【教育長】

それでは、議事に入ります。

日程第1 議事録署名委員の指名を行います。

議事録署名委員は、八角委員、安藤委員を指名します。

【教育長】

続きまして、日程第2 議案第24号を議題といたします。

議案を職員に朗読させます。

(職員朗読)

【教育長】

所管課長の提案理由の説明を求めます。

【学校教育課長】

議案第24号 銚子市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、ご説明いたします。現在、委嘱しております銚子市学校給食センター運営委員会委員の内11名が、人事異動等により退任されたので、後任として新たに委員を委嘱しようとするものであります。委員として委嘱しようとする方々は、各関係機関から推薦のありました11名でございます。委員個々の氏名等は、名簿に記載のとおりでございますので、省略させていただきます。委員の任期は、銚子市学校給食センター条例第5

条第4項の規定により2年であります。今回は、欠員のため新たに委嘱しようとするものであることから、残任期間である令和2年7月1日から令和3年6月30日までの1年間となるものでございます。以上で説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【教育長】

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【教育長】

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【教育長】

討論なしと認めます。

これより採決をいたします。議案第24号について、原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】 (挙手)

【教育長】

挙手全員であります。

よって、議案第24号は原案のとおり決しました。

【教育長】

続きまして日程第3 議案第25号を議題といたします

議案を職員に朗読させます。

(職員朗読)

【教育長】

提案理由の説明を求めます。

【学校教育課長】

それでは、議案25号、代決処分の承認を求めることについて、令和2年度銚子市一般会計教育費補正予算要求をご説明いたします。令和2年度銚子市一般会計教育費補正予算要求は、本来ならば、教育委員会にお諮りしてから6月市議会に上程させていただくのですが、事前に教育委員会にお諮りする時間的な余裕がなかったため、代決処分とさせていただきます。

それでは、別添資料、令和2年6月補正予算総括表をご覧ください。前回の教育委員会定例会の報告の中で、その時点での要求内容をご説明させていただきましたが、その後、財政当局と協議した結果、このような要求内容となったものです。令和2年6月補正予算総括表は、教育委員会の要求分をまとめたものです。全体といたしましては、令和2年度銚子市一般会計教育費補正予算として、歳入7事業、合計1億6,316万4千円、歳出10事業、3億2,057万5千円をそれぞれ増額しようとするもので、各々の予算要求の具体的な内容については、担当課長から説明させていただきます。

それでは、このうち学校教育課所管分につきまして、ご説明いたします。はじめに、歳入です。上の表をご覧ください。1行目、3行目、5行目の国庫支出金は、小中学

校、幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策物品の購入に伴う国庫補助金収入です。2行目及び4行目の国庫支出金、県支出金は国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校の児童生徒へ一人一台、タブレット端末を整備し、その使用環境を整備するための経費などに係る国、県の補助金収入です。次に歳出です。下の表をご覧ください。1行目、3行目、5行目につきましては、小中学校、幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用消耗品や空気清浄機、非接触型体温計などの購入に係る経費を計上したものです。2行目及び4行目につきましては、国のGIGAスクール構想に基づき、タブレット端末の購入、GIGAスクールサポーター業務委託、学校ネットワークの整備や、学校支援システム使用に係る経費を計上したもので、国県補助金や国の臨時交付金などを活用して実施しようとするものです。以上で、学校教育課所管分の説明を終わります。

続きまして、学校給食センター所管分についてご説明いたします。歳入にお戻りください。6行目 その他諸収入は、令和2年2月27日付け全国一斉臨時休業に伴い、すでに発注されていた3月分の食材に係る納入業者に対する補償金の財源として、学校給食会から交付される学校臨時休業対策費補助金です。次に歳出です。6行目、7行目は、新型コロナウイルス感染症対策のため、給食の提供がなかった一斉臨時休業期間中に生じた、昼食を家庭でとることによる経済的負担を軽減するため、小・中学校における準要保護児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を補助するものです。次に最下段8行目は、先ほど歳入でご説明しましたが、すでに発注されていた3月分の食材に係る納入業者に対する補償金60万4千円を計上したものです。以上で、学校給食センター所管分の説明を終わります。

【社会教育課長】

続きまして、社会教育課所管分について、ご説明いたします。令和2年6月補正予算総括表歳出裏面をご覧ください。社会教育課スポーツ振興室、銚子さんまマラソン運営経費800万円の減額要求は、令和2年11月15日日曜日に開催を予定していました銚子さんまマラソンが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。このため、本年度、市から実行委員会へ支出を予定していた負担金800万円の歳出予算を減額しようとするものです。以上で、社会教育課所管分の説明を終わります。

【銚子高等学校事務長】

続きまして、銚子市立高校所管分について、ご説明いたします。令和2年6月補正予算総括表の歳入にお戻りいただきまして最後の行をご覧ください。新型コロナウイルス感染防止対策物品の購入に係る国庫補助金収入16万円です。次に、歳出ですが、裏面の最後の行をご覧ください。新型コロナウイルス感染防止対策物品の購入に係る経費32万円です。なお、5月の本委員会でご説明した、臨時休校措置に伴う連絡関係通知等の発送経費は予備費で対応することになり、補正予算扱いとはなりません。以上です。ご審査のほど、よろしくお願い申し上げます。

【教育長】

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

【八角委員】

G I G Aスクール構想に係る2億1,307万1千円と1億849万1千円については、小学校整備債、中学校整備債、一般財源以外は、国、県の補助金と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で賄われているということによろしいでしょうか。

【学校教育課長】

それでいいです。

【八角委員】

一人1台タブレットを貸与ということですか。ICTの活用による授業の展開や遠隔授業の実施のために使用ということで、これに伴う教職員の研修やICT教育のサポーターの依頼等の準備は始まっていますか。

【学校教育課長】

教職員の研修については、具体的には決まっていません。予算のなかにはありますが、G I G Aスクールサポーターとして急速にICT化を進めるにあたって、関係企業のOBや技術者を学校に配置しサポートをしていくことを計画しています。

【八角委員】

G I G Aスクールサポーターを小学校6人、中学校2人配置を予定しているようですが、1人の方に日によって違う学校へ行ってもらえるようになるということですか。

【学校教育課長】

そのようになる予定です。

【八角委員】

遠隔授業ということだと、現在、対面で行っている授業を遠隔授業用に撮影等をするというイメージですか。

【学校教育課長】

それについては、まだ具体的には決まっていません。児童生徒に一人1台のタブレットを貸与して、今後、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波がきた際に何かしらの動画を観られるようにしていきたいと考えています。方向性は決まっていますが、具体的なことについての議論は行っていません。

【教育長】

すぐに行なえるように準備をして、実際にどのような授業をしていくか、これから考えていきます。

【八角委員】

それは、市内で共通のものになるのですか。それとも、各学校で作成するのですか。

【教育長】

それについては、今後、決めていくこととなります。各学校で配信するのか、市内で同じものを時間で配信するのかということも含めて、これから検討していくこととなります。

【松崎委員】

全国の市町村で同じように予算が組まれて、タブレットやウェブカメラ等も含めて、サポーターの人材確保も難しくなると思います。それについて、どのよう見込んでい

ますか。

【学校教育課長】

そのとおりでかなりの需要が見込まれるため、年度内の導入を予定していますが、優先して中学校3年生と小学校6年生から段階的に進めていきたいと考えています。そのため、いつということについての見通しは立っていません。

【安藤委員】

G I G Aスクール構想というのは、今回の新型コロナウイルス感染症での遠隔授業だけを目的にしたものではないと思います。ICT活用を進めるためということで銚子市では、この整備に関してどのような構想があるのでしょうか。

【八角委員】

関連したことで、パソコン等にたけた先生方がいると思いますが、小中学校のそのような先生方を集めて対策をとるのでしょうか。その先生方には負担はかかると思いますが、多くの先生方がとまどうと思いますので研修等の計画をきちんとしてほしいと思います。

【学校教育課長】

G I G Aスクール構想は5年計画ですが、今年度、新型コロナウイルス感染症の関係でより後押しをされています。その状況をみながら進めているところです。そのため、機器の発注や環境整備の整理に精一杯で、ソフト面の導入については至っていない状況です。機器の選定等についてはパソコン等にたけた先生方に知恵をいただきながら選定していくと共に授業での活用方法についても並行して話し合いをしていく必要があると考えています。

【安藤委員】

機器を揃えて、配布して終わりではなく、実際に活用していくための計画を早く作成して行ってほしいと思います。

【伊藤委員】

一人当たり6万円の予算ということですが、6万円のタブレットを購入するということですか。予算に余裕があれば8万円のタブレットでもよいということですか。または、性能がよければ3万円のタブレットでもいいということですか。

【学校教育課長】

国からは1台当たり4万5千円ということで予算化されていますが、実際はその予算額では難しいため、他の付属機器等を含めて一人当たり6万円での購入を予定しています。しかし、それでも十分ではありませんので、今後7万円で予算要求をしていく予定です。

【教育長】

6万円のなかにはワープロ機能や表計算機能を入れてのタブレットを購入予定ということですか。これは、児童生徒用です。これとは別に教員用を国の補助金で対応することを計画しています。

【伊藤委員】

それらはリースですか。購入ですか。

【学校教育課長】

市で購入をしたものを児童生徒に貸与することになります。

【伊藤委員】

リースではなく、購入した場合には何年後かに買い替えにならないのですか。

【学校教育課長】

いろいろ検討はしましたが、最終的に購入して児童生徒に貸与するのが予算的にも一番いいというように判断しました。

【教育長】

原則として、家に持ち帰ってもよいが、通信料については各家庭での負担となります。ネットワーク環境が整っていない家庭には教育委員会でWi-Fiルーターなどの貸与を検討しています。タブレット等の故障時の保障についても5年間はあります。

【松崎委員】

国は初期の導入に係る財源はだしますが、その後については各自治体で持つケースが多々あります。そのため、この機器の更新が必要になった際にどうするのかということについても、考えておかなければならないと思います。

【教育長】

それについては、全国の多数の自治体の悩みで、財政力ある市町村はよいのですが。

【伊藤委員】

5年計画ということは、5年以内にGIGAスクール構想の整備をしてくださいということですか。それとも、5年間は補助がでるということですか。

【学校教育課長】

このGIGAスクール構想は、新型コロナウイルス感染症の流行の前から計画されていたもので、5年の計画のなかで行っていきましょうということでしたが、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のなかで、早急に対応してほしいということで、今年度に対応していくことになりました。

【教育長】

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はございませんか。

【教育長】

討論なしと認めます。

【教育長】

これより採決をいたします。議案第25号について、原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

【全委員】 (挙手)

【教育長】

挙手全員であります。

よって、議案第25号は原案のとおり決しました。

【教育長】 閉会宣言 午後3時30分

以上をもちまして、令和2年6月銚子市教育委員会定例会を閉会いたします。

銚子市教育委員会会議規則第 18 条第 2 項の規定により署名する。

令和 2 年 7 月 3 1 日

署名委員 安 藤 清

署名委員 八 角 憲 男